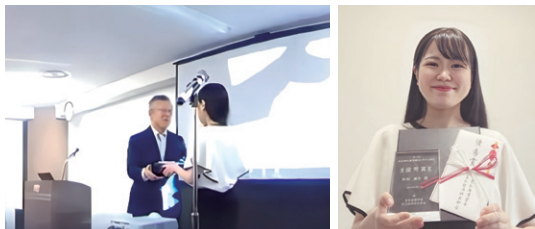


ゼミ活動等学生の活躍

本学Webサイトに掲載された記事を中心に紹介します。＜2024年7月～2024年10月＞
学生の学年は、記事掲載時の情報です。

経済学部 学術連盟経済学会委員長の学生が 税收弾性値予測コンテスト2023で優秀賞を受賞

2024年9月12日、飯島大邦ゼミ2年阿部凜花さんが、景気循環学会高圧経済研究部会の「税收弾性値予測コンテスト2023」において、優秀賞を受賞しました。このコンテストは、「税收弾性値」、「税收」、「名目GDP」、それぞれの予測値の精度を基準に賞が授与されます。



理工学研究科修士2年の学生が最先端ナノテクノロジー 国際会議においてポスター賞をダブル受賞

2024年7月9日～12日、理工学研究科応用化学専攻博士前期課程2年馬島沙希さん(小松研究室)、博士前期課程2年藤田真悠花さん(小松研究室)が、タイ・バンコクで開催された最先端ナノテクノロジー国際会議(Cutting-edge Nanotechnologies for Good Health and Well-being)において、厳正な審査(ポスター発表と3分間ピッチ(メイン会場で行われたプレゼン)に対する総合評価)の結果、Poster Presentation Award をダブル受賞しました。

受賞タイトル:

Velocity Control of Polymer-Based Tubular Micromotors by Visible Light Irradiation: Saki Batori, Teruyuki Komatsu (Chuo University)
Surface Decoration of Red Blood Cells with Polyoxazoline to Mask RhD Antigens: Mayuka Fujita, Teruyuki Komatsu (Chuo University)



メイン会場でプレゼンする
藤田真悠花さん(左)、馬島沙希さん(右) Poster Presentation Award(ポスター賞)の
発表と授賞

総合政策学部の学生が川崎市市制100周年記念式典 において未来賞を受賞

2024年7月1日、ミュゼ川崎シンフォニーホールにおいて「川崎市市制100周年記念式典」が開催され、国際政策文化学科4年吉沢春陽さんが代表を務める団体「かわさき芽吹き塾」が、教育分野で未来賞を受賞しました。表彰式では、川崎市の発展に関し、特に顕著な功績がある方々及び市の発展に関し顕著な功績があり、かつ、今後の更なる活躍が期待される方々が称えられ、228組が表彰されました。吉沢さんは、2年生の時に中高生を対象に学習支援や居場所支援を行う学生主体の団体「かわさき芽吹き塾」を立ち上げ、現在も代表を務めています。



商学部 潮ゼミの学生が在ルクセンブルグ日本国 大使公邸にて産学連携プロジェクトの成果報告

2024年8月25日～29日、潮清孝ゼミの学生がルクセンブルグ大公国を訪れ、在ルクセンブルグ日本国大使公邸にて、関西学院大学、University of Luxembourg、Circu Li-ion社との産学連携プロジェクトの成果報告会を行いました。潮ゼミでは毎年世界各国で海外研修を実施しています。2024年4月に三大学混合キックオフミーティングを行ったあと、4つのチームに分かれ、オンラインで事業案の検討を行いました。提案準備、プレゼンテーション、懇親会などを通じて学生同士の交流も深める事が出来ました。



理工学研究科修士1年の学生がNPO 2024にて The Best Young Scientist Poster Presentation Awardを受賞

2024年8月4日～9日、理工学研究科電気電子情報通信工学専攻博士前期課程1年の小田原遼河さん(河野研究室)がフィンランドのクオピオで開催された9th International Workshop on Nanocarbon Photonics and Optoelectronics(NPO 2024)にて、The Best Young Scientist Poster Presentation Awardを受賞しました。

受賞内容

発表タイトル: Physical and chemical composition optimization of CNT imagers for augmented reality non-destructive inspections

発表形式: ポスター

著者: Ryoga Odawara, Minami Yamamoto, Yukio Kawano, Yoshihiro Watanabe, Kou Li



文学研究科博士前期課程の学生が XXIV The International Congress of Infant Studies (ICIS)において travel award を受賞

2024年7月8日～11日、スコットランド・グラスゴーで行われたICIS(国際赤ちゃん学会)にて、文学研究科心理学専攻博士前期課程1年梅川瑠空さんが travel award を受賞しました。travel award は、国際赤ちゃん学会(International Congress of Infant Studies)への学生の旅費を助成するもので、学会での発表が認められた学生執筆や、乳幼児研究について深く学びたいと考えている学生を対象としています(申請時には学部在籍していることが条件)。受賞は非常に狭き門で、日本人では梅川さんが初めての受賞となります。



第160回 知の回廊「乳児の世界」より